

医療・介護支援強化を

県、国へ報酬改正要望

物価上昇を受けて経営が厳しさを増す、医療福祉現場への支援強化を求める声が相次いだ。議員は「診療・介護報酬制度は急激な物価上昇に即応できない。国に物価スライド制度導入や加算措置を強く要望すべきだ」と訴えた。知事は「経営の柱である診療・介護報酬等の引き上げは不可欠で、全国知事会を通じて国に強く求めてきた。今後も診療報酬等の適切な改定を国に働きかける」と応じ、議員は「尊い仕事であること、介護人材確保に向けて、議員は『尊い仕事であること』を周知するとともに、県独自の体制構築に一定の成果があったが、地域支援拠点病院が減少するなど課題もある。支援体制の在り方を検討していく」と述べた。

議員が重症心身障害児者や医療的ケア児の短期入所事業所の偏在について疑問を投げると、知事は「昨年度までに12カ所整備されたが6カ所が仙台市内で、地域偏在は大きな課題だ。今年度開始した開設促進事業により、身近な地域で短期入所サービスを利用できる環境整備に努める」と述べた。



9月定例会の本会議

不登校支援充実求める

教育長「個々のニーズに応じる」

子どもの不登校支援充実や学校の環境改善など、教育分野にも質問が相次いだ。不登校対策として、議員が山形県内の先進事例を紹介し「専門家チームの定期的な巡回相談・指導助言と障害の有無のスクリーニングに、試行的に取り組んでほしい」と提言すると、教育長は「現在は登校・発達支援相談室『りんくるみやぎ』や、特別支援学校のセンター機能を活用し相談に対応している。引き続き子どもの実態を早期に把握し、一人一人のニーズに応じた適切な支援につなげられるよう努める」と述べた。

子どもの不登校増加や教員の多忙化を踏まえ「学校が多忙でストレスの多い場所になっているのではないかと議員が指摘すると、教育長は「教員と子どもの双方に『余白』を創出することで、教員が一人一人の子どもに寄り添い、その学びを充実させることができるようしっかりと取り組んでいく」と考えを示した。

議員が県立高校の在り方などを検討する「県立高等学校将来構想審議会」での議論について問うと、教育長は「確かな学力の育成や教育デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進など高校教育の質の向上。大学や企業と連携した専門的な学びや地域の特性に応じた学科横断的な学びなど時代のニーズに対応した高校の魅力化、オンライン活用による教育空間の拡張などについて意見があった」と説明した。

議員が「社会教育委員会に青少年代表を入れ、その声を生かしてはどうか」と問うと、教育長は「2026年5月の改選時には参画してもらえよう調整する」と応じた。

老朽化の県武道館

適切な修繕で既存施設活用

老朽化が進む県武道館の改修工事に対する問いに、知事は「開設から40年以上が経過しているが躯体は堅牢であり、必要な長寿命化対策を重ねているため、バリアフリー化などへの対応や適切な修繕を行ないながら現施設を活用する。エレベーター設備などの設置工事に向けた検討を進めており、着工は来年度を見込んでいく」と述べた。

質問者と主な質問項目

- 代表質問(3人)
 - 高橋宗也(自民) 県政の課題に立ち向かう方針について、復興の推進と防災力の向上について 他▽ゆきみゆき(県民の声) 知事20年県政運営の検証と課題への対応、対話による県民総参加の県政運営▽藤原益栄(共産) 宮城県水道用水供給事業について、特定利用空港・港湾の指定に 関して 他
 - 一般質問(16人)
 - ▽瀬戸健治郎(自民) 令和の米騒動について、宿泊税を財源とする具体的な事業、他▽柘和也(県民の声) 次世代県立高校存続の新たな取組に 関して 他

- 代表質問(3人)
 - 高橋宗也(自民) 県政の課題に立ち向かう方針について、復興の推進と防災力の向上について 他▽ゆきみゆき(県民の声) 知事20年県政運営の検証と課題への対応、対話による県民総参加の県政運営▽藤原益栄(共産) 宮城県水道用水供給事業について、特定利用空港・港湾の指定に 関して 他
 - 一般質問(16人)
 - ▽瀬戸健治郎(自民) 令和の米騒動について、宿泊税を財源とする具体的な事業、他▽柘和也(県民の声) 次世代県立高校存続の新たな取組に 関して 他

- 代表質問(3人)
 - 高橋宗也(自民) 県政の課題に立ち向かう方針について、復興の推進と防災力の向上について 他▽ゆきみゆき(県民の声) 知事20年県政運営の検証と課題への対応、対話による県民総参加の県政運営▽藤原益栄(共産) 宮城県水道用水供給事業について、特定利用空港・港湾の指定に 関して 他
 - 一般質問(16人)
 - ▽瀬戸健治郎(自民) 令和の米騒動について、宿泊税を財源とする具体的な事業、他▽柘和也(県民の声) 次世代県立高校存続の新たな取組に 関して 他

- 代表質問(3人)
 - 高橋宗也(自民) 県政の課題に立ち向かう方針について、復興の推進と防災力の向上について 他▽ゆきみゆき(県民の声) 知事20年県政運営の検証と課題への対応、対話による県民総参加の県政運営▽藤原益栄(共産) 宮城県水道用水供給事業について、特定利用空港・港湾の指定に 関して 他
 - 一般質問(16人)
 - ▽瀬戸健治郎(自民) 令和の米騒動について、宿泊税を財源とする具体的な事業、他▽柘和也(県民の声) 次世代県立高校存続の新たな取組に 関して 他

予算特別委員会

9月19日に総括質疑を行い、その後、各分科会での審査を経て、津波被害を受けた養殖施設の復旧支援に要する経費などを計上した令和7年度補正予算を可決した。

質疑者 八島利美、菊地忠久(自民)、荒川洋平(県民の声)、ふなやま由美(共産)、遠藤伸幸(公明)、熊谷義彦(立無ク)、阿部真喜(21世紀ク)、小野寺健(維新)、中島源陽(無所属)

また、10月3日に令和8年度予算調製方針への質疑が行われた。

質疑者 高橋啓、さとう道昭(自民)、三浦ななみ(県民の声)、ふなやま由美(共産)、遠藤伸幸(公明)、熊谷義彦(立無ク)、阿部真喜(21世紀ク)、小野寺健(維新)、中島源陽(無所属)

常任委員会

○総務企画委員会
宮城県県税条例の一部を改正する条例、住民基本台帳法施行条例の一部を改正する条例、震災対策推進条例の一部を改正する条例、公立大学法人宮城大学の定款変更についての4議案

決算特別委員会

9月26日に総括質疑を行い、その後、各分科会での審査を経て、令和6年度宮城県一般会計決算及び各特別会計決算、公営企業会計決算について認定した。

質疑者 横山隆光、伏谷修一、杉原崇、柚木貴光(自民)、佐藤仁一(県民の声)、金田もとる(共産)、大池康一(公明)、渡辺忠悦(立無ク)、吉川寛康(21世紀ク)、小野寺健(維新)、中島源陽(無所属)

環境福祉委員会

工事請負契約の締結について(県民会館・NPOプラザ複合施設(仮称)新築電気工事)、工事請負契約の締結について(県民会館・NPOプラザ複合施設(仮称)新築衛生工事)、工事請負契約の締結について(県民会館・NPOプラザ複合施設(仮称)新築空調工事)の3議案

経済商工観光委員会

損失補償契約に係る回収納付金を受け取る権利の放棄に関する条例の一部を改正する条例、産業交流センター条例の一部を改正する条例の2議案

○農林水産委員会
なし

○建設企業委員会
和解及び損害賠償の額の決定について(旧笹川排水機場建設工事)、工事請負変更契約の締結について(旧笹川排水機場機械設備工事)の3議案

○文教警察委員会
財産の取得について(情報通信機器(タブレット端末等)一式)、工事請負変更契約の締結について(宮城県佐沼高等学校校舎等改築工事(その1))、工事請負変更契約の締結について(宮城県迫桜高等学校校舎等改修工事)、工事請負変更契約の締結について(宮城県立視覚支援学校校舎等改築工事)の4議案

議長記者会見

9月定例会閉会日の10月2日、高橋伸二議長が記者会見を行った。

代表質問や一般質問での論戦を振り返り「県内医療機関への支援策や介護人材不足への対応といった医療・保健福祉関連、県立高校の将来構想や教育現場改善といった教育関連のほか、観光・産業関連、米政策や仙台牛など農林水産の各分野についても、幅広く議論が行われた」と総括した。

補正予算については「記録的な渇水への対応として農業用水供給設備設置の支援や、カムチャツカ半島付近で発生した地震で津波被害を受けた養殖施設の復旧支援に要する経費



高橋伸二議長

県議会からのお知らせ

●県議会コンサートのご案内
◇次回コンサートの開催予定
・開催日時／定例会開会予定日 11月27日(木)
午後0時5分～35分
・場所／県議会庁舎 本会議場
・出演／羽賀智美
・ジャンル／電子マリンバ演奏
・入場料／無料(申込不要)

●傍聴のご案内
本会議の傍聴について、傍聴を希望される方は、本会議開会日当日、議会庁舎1階にある傍聴受付へお越しください。
各委員会について、傍聴を希望される方は、委員会開会日当日、議会庁舎1階ロビーへお越しください。
詳細については、022(211)3571(総務課)までお問い合わせください。

みやぎ県議会だより 検索

●ウェブ版みやぎ県議会だより
県議会をより身近に感じていただけるよう、写真を多く取り入れております。

宮城県議会 検索

●県議会ホームページのご案内
定例会の日程や会議録等をご覧ください。

宮城県議会中継 検索

●議会中継のご案内
インターネットで議会中継や録画映像をご覧ください。